



# 学校だより「杜の子」



市川三郷町立  
上野小学校

発行者（文責）  
校長 保坂 久信

## 総会を終え、児童会活動スタート



5月8日(金)、児童総会が開かれました。3年生から6年生までの児童が参加し、執行部役員からの提案を審議しました。

今年度のスローガンは「なかま～なかよし上野小・かっこいい上野小・まなびがたくさん上野小～」です。昨年の活動を引き継ぎながら、更なる充実を目指します。具体的な活動としては「なかまラジオ」「たてわりあそび」「おそろいグッズ」を通して「なかよし上野小」を目指します。「無言清掃」「生活目標」「ボランティア活動」「あいさつ運動・あいさつリーダー」「杜の子美術館」で「かっこいい上野小」をつくります。「クイズラリーイベント」「感想発表」「杜の子大会」で「まなびがたくさん上野小」に取り組みます。また、放送音楽委員会、給食委員会、園芸美化委員会、図書委員会、保健体育委員会もそれぞれの活動方針に沿って、上野小の生活をより楽しく、豊かにするために活動してくれます。

児童総会は、みんなで、よりよい上野小学校づくりについて考えることができた時間でした。そして、これからへの期待が大きく膨らむ時間でした。

はじめて総会に参加した3年生が、緊張の面持ちで上級生の前での意見発表を終え、直後に見せたほっとした表情が印象に残りました。

## R8 児童会役員と委員長のみなさん

○児童会会長：

小林 葵 (こばやし あおい)さん

○児童会副会長：

相原 理人 (あいはら みちと)さん

小林 裕 (こばやし ゆう)さん

渡辺 晴大 (わたなべ はると)さん

○児童会委員：

丹沢愛結実 (たんざわ あゆみ)さん

藤田 悠慎 (ふじた ゆうま)さん

○委員会

・放送音楽委員会 委員長

佐藤穂乃香 (さとう ほのか)さん

・給食委員会 委員長

杉山 楓果 (すぎやま ふうか)さん

・園芸美化委員会 委員長

窪田 芽 (くぼた めい)さん

・図書委員会 委員長

松浦朱佳音 (まつうら あかね)さん

・保健体育委員会 委員長

松岡 歩武 (まつおか あゆむ)さん

## 1年生 通学路探検（生活科）



1、2年生に「生活科」という教科があります。見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶということしながら、その楽しさや気づきを表現する学習です。このことを通し、学習上の自立、生活上の自立、精神的な自立をめざします。また、ここの学びを実生活に生かし、自分でできることを増や



したり、活動の範囲を広げたりできるようにすることも目標です。

5月7日(木)、1年生は通学路探検に出かけました。歩きながら「春さがし」「きれいなものさがし」を楽しみながら、お友だちと気持ちよく、仲良く過ごすこと、安全に気をつけて上手に歩くことができました。

「生活科」を通して、1年生は、自分自身を大切にできたり、身近な人を大切にできたり、自分の周りの社会や自然を大切するようになったりしていきます。1年生みんなの生活が楽しく充実したり、夢や希望が大きく膨らんでいくことを願います。

### 授業参観・PTA活動



5月1日(金)、授業参観、PTA総会、学年PTAを開催しました。授業参観では、保護者の方々に見守られ、いつもより張り切って授業に臨む子供たちの姿を、そこかしこで見ることができました。

令和8年度の上野小PTAは「たくましく心豊かな子どもを育てるPTA」が活動テーマです。佐藤純子会長を中心とした5名の執行部員が、子供たち全員を心豊かで健やかに育てていくために、家庭・地域・学校の連携協力をリードしてくれます。執行部、保健安全部、生活文化部、広報部のそれぞれの活動が、子供たちのための楽しいものになればと思います。

… 1年生 …



○学年目標  
かっこいい！ねんせい  
やさしい！ねんせい  
がんばる！ねんせい



… 2年生 …



○学年目標  
「はっけん 大すき わくわく  
2年生」

… 3年生 …



○学年目標  
「キラキラの自分、にこにこの友だちと 元気にチャレンジ！」

… 4年生 …



○学年目標  
や やさしくしよう  
ま 学びを深めよう  
な なかよくすごそう  
し しせいよく聴こう

… 5年生 …



○学年目標  
「思いやり」

… 6年生 …



○学年目標  
「キセキ」  
～奇跡 軌跡 輝石～

### 「伸びよ 杜の子」～おもうこと～

「更にそこから生まれるもののなき博学はくだらない。知識のコレクションに過ぎない。」小説家、志賀直哉の言葉だ。「くだらない」「過ぎない」という言葉から小説の神様の気持ちを察することができる。

インターネットのおかげで、知識、情報量は、誰もがほぼ平等に、ほぼ同時に、手にできる時代となった。子供たちがそれを活用し、思考、判断、表現する力をどう育むか。そして、何を生むか、どう生むか、の力をどう育むかが求められている。Society5.0の社会において、新たな価値を創造する人材を育成するため、学校は「子供主体の授業」への転換中だ。ネット環境を「生まれるもののなき博学」にはしたくない。

上野の子供たちが、新たな価値を創造する人材となるためには、今、何が必要なのか。大人が互いに頭を突き合わせて考えてみたいとも思う。きっと、正解はひとつではない。鍵は「しなやかさ」だ。

